



同窓会だより

第 30 回
平成 31 年 3 月
発行 呉高専同窓会

校長あいさつ

呉高専での 7年間を振り返って

校長 森野数博



平成30年12月9日(日)9時50分。正門になだれ込む人、人、人…。10時から始まる「びっくりワクワクサイエンスショー」へお出で下さる人々の群れ。正門をちょうど見下ろせる位置にある校長室からながめるこの風景が、初冬のひそかな楽しみになりました。

いい学生を取りたい。そのためには呉高専の知名度を上げることが肝要。それには本校に足をお運びいただき、教育の成果をみていただくのが最も効果的。そのためにもまずは地力をつけ、みなさんに楽しんでもらえる魅力的な出し物が準備できるようになること。

そんな思いでこのサイエンスショーを始めたのが5年前でした。1年目、どれくらい人が集まるだろうかと不安のなかでの船出でしたが、まさに嬉しい悲鳴。お越し下さった方は1年目から600名を超え、今年度は優に1000名を超えるほどに。開校以来連綿と伝統を守り、進化させ続けている高専祭と並び、本校を代表する一大イベントになりました。

本校に着任して7年目。お恥ずかしい話ながら、着任時の呉高専は元気がありませんでした。勉学面もしかし課外活動もしかし、先生方の研究面もまたしかし。地域との交流も少なく、暗い雰囲気が学内を席捲。正直なところ、どこから手を付けてよいかわからない状況にありました。悶々とした時期が2年ほど続きましたが、上昇のきっかけとなったのは、広島テレビで放映された「ぐるぐるスクール」。以前の同窓会だよりも紹介させていただきましたが、平成26年2月に放映されたこの番組が契機となり、いろいろなことが好転し始めました。「理系エリートが集まる呉高専」「何もかもが規格外」。テレビが映し出す映像は、まさにそれそのもの。テレビ局が付けたそんなキャッチフレーズや映像が、自信を失いかけていた我々を目覚めさせ、勇気を与えてくれました。

みなさまに毎年送られているこの同窓会だよりのなかで、私からもその年々の状況をご報告させていただいています。そのタイトルを改めてながめてみると、この7年間の本校の歩みがよくわかります。

H24: 呉高専同窓会のみなさまへ

H25: 元気な呉高専に

H26: いよいよ50周年です

H27: 元気はつらつ、新生呉高専

H28: 逞しく歩み始めた、新生呉高専

H29: 順調に歩み続ける、新生呉高専

おかげさまでいま呉高専は元気そのもの。インキュベーションワークを手始めとする教育改革の成果は平成29年度38件にもなり、たとえばロボコンは全国大会に直近5年間で4回出場するほどの常連校になりました。課外活動でもソフトテニス部が全国大会で優勝するなど全体的な底上げが進んでおり、層の厚さを実感しています。これらの様子は本校HPに常時アップしており、順調に右肩上がり続けている様子が窺われるかと。巷の受験情報によれば、いま本校は呉市内ではトップ校と評価されているようです。しかし、まだまだこれからです。我々の使命は地域をもっと元気にし、産業を振興させ、人を集める街にする。減り続ける呉市の人口を食い止め、人口増へとV字回復させて始めて、呉市で唯一の高等教育機関としての役割を果たせたいといえるでしょう。そのとき初めて、同窓会のみなさまに誇らしく胸を張っていただけるようになろうかと思っています。

思い出の1枚をというご依頼があり、50周年を記念して設置した「時計台モニュメント」の除幕式の写真を選びました。平成27年11月1日に行ったこの除幕式が、いまにして思えば、「新生呉高専」への幕開けになったように思えます。私にとってだけでなく、呉高専の在校生や同窓会のみなさまを含めた関係者にとっても、記念すべき1枚になるのではなかろうかと思っています。

10時を30分ほど過ぎ、やっと車の波、人の波が落ち着いてきました。地域に密着したこのような取り組みをずっと続けられれば、呉高専の未来は明るいことでしょう。そして、同窓会のみなさまに心の底から誇りに思っていただけの呉高専になるであろうと確信しています。

7年間でしたが、みなさまのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



呉高専同窓会平成31年度総会・懇親会開催のご案内

呉高専同窓会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、来年度は3年に一度の総会・懇親会の開催年度であり、下記の内容で総会・懇親会を計画中です。総会では、同窓会会則第8条により役員改選が行われます。また、懇親会は、6～8期生及び29～31期生（土木工学科は1～3期生及び24～26期生）のお世話により行う予定です。

記

日時：2020年1月上旬（総会：1時間程度 懇親会：2時間程度）

場所：未定（呉市内を予定）

会費：未定（当日会場にて受付）ただし平成29～31年3月卒業の会員、OB教員は無料

幹事：機械・電気・建築／6～8期生及び26～28期生、土木／1～3期生及び24～26期生

なお、総会・懇親会の案内、総会の出欠および委任状の提出、懇親会の出欠については、2019年9月頃に往復ハガキにて行う予定です。よろしくお願い致します。

同総会の皆様へ

会長 島田 裕己 (土木工学科 5期)

同窓生のみなさんこんにちは、皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。今年は日本列島が自然災害に見舞われた年となり、西日本豪雨災害では学生や同窓生も少なからず被災されたようにお聞きしています。被災された同窓生や関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災当初は道路・鉄道といったインフラが寸断され、電気・水道といったライフラインが復旧するまで大変な思いをされた事と思います。

仕事柄復旧に関わる仕事もしましたが、被災地の復旧はまだまだという感じではないでしょうか。

明るいニュースというか先日2025年の万国博覧会の開催が大阪に決定しました。全国的には盛り上りを欠いていたように感じますが中学一年生の時にアメリカ館でアポロ11号が持ち帰った月の石を何時間も並んで観た記憶が昨日のようによみがえります。当時発表された携帯電話や電気自動車が現実の

ものとなりごく自然に利用していますが、これからの新しい技術の結集に夢ある未来を観たいと思います。もう一つ予算をはじめにいろいろ問題があるようですが、東京オリンピック開幕まで2年を切っただけという感じですが、皆さんは何を期待していますか。日本選手の多くの金メダルですか。技術を結集した国立競技場をはじめとする箱物の技術ですか、それとも採点競技に採用される新技術でしょうか。小学校一年生の時にテレビで見た裸足でマラソン優勝のアベベ選手、回転レシーブで優勝した東洋の魔女と言われた女子バレーボールチームなどの活躍も記憶にあります。

還暦を過ぎてオリンピックを競技会場で、万国博覧会も訪れる機会があることに今からワクワクしています。

たわいもない投稿となってしまいましたが、同窓会では、50周年記念事業のあと、これといった活動ができていません。

同窓会たよりも郵送での案内でなくホームページでの掲載となっています。

皆さんからの活動へのご意見等も種々いただければと思いますので今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

呉高専同窓会名簿の更新と発刊について

平成31年1月下旬に、同窓会名簿(冊子版)の改訂版を発刊する運びとなりましたことを改めてご報告致します。この度は大変お忙しい中、住所変更等の動向調査にご協力頂きまして誠に有難うございました。また、名簿の予約に加え、寄付にご賛同頂きました皆様には重ねて御礼を申し上げます。ご予約頂きました皆様におかれましては、今しばらくお待ち頂けます様、宜しくお願い申し上げます。

時代背景を踏まえ、名簿発刊に関しては賛否両論あるかと思えます。名簿の悪用を危惧される方もおられる一方、同窓生や先輩・後輩・知人の動向を楽しみにしておられる方も多くおられます。どちらの立場におかれましても、さまざまな事情とご意見が御座いますことをご理解頂けましたら幸いです。

なお、同窓会事務局には少量の在庫がございますが、身元が確認できない方への販売は行えないことになっております。今回の発刊は、5年後が予定されております。3年後あたりには、改めて動向調査等のハガキが届くことになるかと思えますが、引き続き、同窓会活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

学科だより

人文社会系分野の近況

人文社会系分野代表 木原 滋哉

変わる人文社会系分野と新カリキュラム導入

昨年度末に、長年にわたり歴史を担当されていた宇根俊範先生が定年退職されました。多くの同窓生のみなさんにとっても、呉高専の変化を感じられることと思います。社会科の新任の先生は、来年度から小倉亜紗美先生が着任されます。英語科の新任の先生として、今年度4月から、

柿元麻理恵先生が着任されています。近年新入生の20%以上が女子学生ですが、人文社会系分野の教員は、10名のうち4名が女性(40%)ということになります。

来年度から新カリキュラムが始まります。呉高専全体としては、インキュベーション・ワークを中心に据えたところに特徴があります。高専機構から各高専に配分される予算が減額され続けている影響で、非常勤講師をできるだけ少なくする方針がとられます。その結果、非常勤講師に多くを依存していた人文社会系分野関係の科目は大幅に変更されることとなります。

自然科学系分野の近況

自然科学系分野 笠井 聖二

卒業生の皆様におかれましては各界でご活躍のことと存じます。自然科学系分野のこの1年についてご報告いたします。

まず、教員の異動です。物理・確率統計などを担当して頂いていた森 貞雄先生が、2019年3月末に定年を迎えられます(長い間、有り難うございました)。自然科学系分野代表及び教養教育主任も務められ、分野の中で指導的な役割を担われておられました。なお、森先生は来年度も引き続き再雇用教員として本校で関係授業をご担当されます。

教育に関して、CBT(Computer Based Testing)についてご報告いたします。これまで高専機構が全国の高専3年生に対してマークシート形式の学習到達度試験を実施してきま

したが、本年度からコンピュータを用いた試験にかわりました。学習到達度試験は数学・物理の2科目だけでしたが、今年度のCBTでは化学も加わり、数学と物理については1~3年生12クラス、化学については3年生4クラスの、延べ数百人の学生がe-ラーニングシステムを利用した試験を受験しました。CBTでは、教員が結果を受験後直ぐに確認できるなど良い点がある一方、違った時間に受験する上で問題の質の均一化などの課題もあったように思われます。高専の教育においても、情報・通信技術を活用した教育の活性化・効率化が重要になっています。数学・物理では、日々の授業でのe-ラーニングや情報端末などの活用を積極的に進めています。来年度以降も、更に充実した教育が提供できるように分野全体で取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが同窓会会員の皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

機械工学科の近況

機械工学分野代表 **尾川 茂**

機械工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界でご活躍のことと存じます。平素より学生の就職・インターンシップ等で多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在の機械工学科は、教授5名、准教授4名、助教(女性)1名の10名体制で教育・研究・地域貢献にあたっております。

学生の進路については、学生数35名に対して進学18名(51%)、就職17名(49%)と初めて進学率が就職率を上回ったのが大きな特徴です。進学率はこれまで30~40%でしたが、専攻科の改組もあり大幅に増えました。進学先は専攻科が14名で昨年とほぼ同数でした。国立大編入生は4名で、豊橋技科大2名、九州大、茨城大に各1名が進学し、全員が第一志望です。一方、就職先は、サントリー4名、マツダ2名で、出光興産・ミットヨ・旭化成・ディスコ・中電・JSW・花王などに内定し、ほぼ全員が第一希望に就職できました。

今年度もロボコン部が頑張りました。高専ロボコン中国地区大会で、推薦枠で昨年に続き第31回全国高専ロボコン大会に出場しました。過去5年間で4回全国出場と、中国地区8高専の中ではNo.1の出場率を誇り、常連校になってきました。また、福島廃炉ロボコンでは、準優勝で福島県知事賞を受賞する快挙を達成しました。熱戦の様子はNHK総合テレビで全国放映され、呉高専の存在感をアピールしました。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



高専ロボコン全国大会出場チーム
Vic鳥 (びくとりー)



廃炉創造ロボコン
福島県知事賞 受賞チーム

電気情報工学科の近況

電気情報工学分野 **田中 誠**
(電気工学科11期)

同窓会のみならず、いかがお過ごしでしょうか。まずはOBの話から。電気工学科2期生(昭和45年3月卒業)の同窓生17名が9月15日(土)に母校を訪問されました。7月の豪雨災害で運転を見合わせていたJR呉線も9月9日に広駅まで運転を再開し、前日宮島で泊まりの同窓会を行い、呉線を利用して母校に到着されました。1階の実験室では当時からある溶接機を発見したり、自分が開局したアマチュア無線局がまだ残っているのに感心したり、3階の教室ではみなさん席に腰を下ろして懐かしんでおられました。平成27年10月には1期生11名が母校を訪問しております。3期生のみならずもそろそろ母校訪問をご計画はいかがでしょうか。

次に学科の話題から。4月1日付、江口正徳先生が助教として着任されました。江口先生は本校電気工学科の33期生(平成13年

3月卒業)です。これで本校電気工学科のOB教員が4名になりました。一方で、電気情報工学科の教育と協働研究センター長として共同研究の受け入れに多大な貢献を頂きました山脇正雄先生が、平成31年3月に定年退職されることになりました。先生には再雇用で、引き続き電気情報工学の教育をご担当頂くことになっています。また山崎勉先生の再雇用期間が3月をもって終了いたします。本当に長い間ご指導いただき有難うございました。



2期生の母校訪問のようす

環境都市工学科の近況

環境都市工学分野代表 **重松 尚久**

土木工学科および環境都市工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界で益々活躍のことと存じます。また、日頃から本校の教育・研究に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年、平成30年7月の西日本豪雨災害により、夏休みが前倒りになりどうなるものかと心配しましたが、結果的には大きな混乱もなく乗り切ることができました。

平成30年度の環境都市工学科は、昨年度に続き、加納誠二先生が高専機構本部へ出向されている関係上、教授4名、准教授5名、助教1名の10名体制でスタートしました。なお、三村陽一先生はオーストラリアのカーティン大学の在外研究から復帰されました。また、平成31年4月からは河村進一先生と堀口至先生が教授に、木村善一郎先生が准教授に昇任されます。

環境都市工学科は、全国高専の土木系モデルコアカリキュラムと整合したカリキュラムで教育を行っています。学生たちは、土木学会全国大会優秀講演者賞1名、土木学会中国支部研究発表会若手優秀発表者賞3名、第二回発酵を科学するアイデアコンテスト入賞(1次審査突破により本審査出場)など、様々なところで大活躍してくれました。また、平成30年西日本豪雨災害への一連の取り組みに対して、神田研究室へ国土交通省中国運輸局長より感謝状をいただきました。

学生の進路につきましては、本科卒業予定者42名のうち、就職が28名、進学が14名で、ここ最近の傾向と比べて進学がやや増えました。就職先は、国土交通省、国立印刷局、広島県、広島市、などの公務員に8名、電力やJRやガスや道路などの公益企業14名、大成建設などの建設系企業2名、NEXCOエンジニアリング中国などの建設コンサルタント2名、富士通などその他の企業や団体2名で、ほぼ例年通りの傾向です。進学先は、東京工業大学1名、九州大学1名、熊本大学1名、長岡技術科学大学1名、本校専攻科10名です。また、専攻科修了予定者は6名で、進路は広島県1名、呉市1名、五洋建設1名、ショーボンド建設1名、東北大学大学院1名、その他1名です。今年度は売り手市場がより一層顕著になり、民間志望者は全員夏過ぎには内定をいただきました。来年度も今年度と同様な日程で就職活動を行いますので、声を掛けていただきますようお願いいたします。

今年度は、他学科より少し遅れて学科創設50周年の節目の年になります。同窓生の皆様には色々お願いすることがあると思いますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



国土交通省中国運輸局長より感謝状授与
(神田研究室)

建築学科の近況

建築学分野代表 間瀬実郎

建築学科同窓生の皆様におかれましては、大いにご健勝のことと存じます。引き続き建築学分野代表を務めさせていただき間瀬です。今年度で8年目となります。どうぞよろしくお願いたします。

平成30年3月に、日本建築学会中国支部研究報告会を呉高専にて開催しました。仁保裕先生がリーダーとなり、建築学科教員と学生の協力のもと無事完了しました。呉高専にて建築学会「支部研」を開催するのは約20年ぶりのことでしたが、研究報告会はもちろん、同時開催事業「旧海軍施設見学会」や、シンポジウム「歴史的な建築を活かした地域創生のあり方」も大勢の監修を集めました。

一方、光井周平先生が平成31年4月に広島工業大学に移動します。光井先生は8年間呉高専建築学科に在職し、その間にインキュベーションワーク、古民家再生プロジェクト・石段の家、旧呉鎮守府庁舎地下壕作戦室調査など学内外での重要なプロジェクトを企画し、新聞やテレビにも多数取り

上げられてきました。今後もさらなるご活躍をお祈りいたします。

学生の近況としては、5年生の秋光大地君が東京大学の編入学試験に合格しました。建築学科からの東京大学進学は17年ぶりです。他にも京都工芸繊維大学、北海道大学、横浜国立大学などに進学します。もちろん本校専攻科への進学も活発です。

就職先は、清水建設、竹中工務店、フジタなどのゼネコンに10名、建築設備系企業に2名、電力や鉄道などインフラ系企業に6名、大手メーカーの建築・施設部門に3名などでした。建築業界の求人意欲は男女を問わず非常に高く、今年もその要望に応えきれないほどでした。

最後になりましたが一つお願いがございます。私ども教員は日ごろから、研究教育、地域貢献や学校のPRに励んでおりますが、残念ながら近年、建築学科本科の入学志願者倍率が減少気味です。誠に勝手とは存じますが、同窓生の皆さまに呉高専建築学科のPRをお願いできればと存じます。今後も皆様のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご支援をお願い申し上げます。

定年退職に当たって

定年退職に あたって



機械工学分野 教授

尾川 茂



28年間の企業生活を終え、2013年4月から呉高専に再就職しました。車造りから教育分野に転進し、無我夢中で6年間を過ごし今年3月で定年を迎えます。

今は長年の夢が実現できたという満足感で一杯ですが、これまでの人生を振り返れば苦難の連続でした。1982年に広島大学博士課程に進学しましたが、その年に工学部が西条に移転し、3年間は引越し作業に追われました。特に雨の日は、未舗装のキャンパスで赤土にまみれ長靴で引越し作業。当時はアパートもなく、農家の牛小屋の隣を借り「モ〜」という牛の声で目覚め、新聞配達を終えてから研究室へ。中二階造り、実験装置の搬入組立て作業に追われ、博士課程の3年はあっという間に過ぎ、学位未取得で退学。

博士号のないまま、1985年にマツダ(株)に就職しました。枕を高くして眠れず、いつかは学位の思いで研究成果をまとめ、東京大学から学位を頂きました。入社10年後の1995年の春でした。それから20年近く車両開発に携わりましたが、もう一度研究を始めたいとの思いが強くなり、幸運にも呉高専に就職できました。

呉高専では6年間、授業・研究・地域貢献に追われました。授業では、機械力学・流体工学・計測工学・熱機関・工業英語の5教科を担当しましたが、初年度は特に授業の準備が

大変でした。「教えることは学ぶこと」を実感する日々でした。研究は、学位テーマを20年ぶりに再開しましたが、当時のレベルに達するのに4年を要しました。この間、地元企業との共同研究を通じて、衝突安全、ドアミラー振動解析、排ガス再循環の熱流体解析、最近では再生エネルギーの風力発電など様々な研究にチャレンジしました。卒研究生22名、専攻科生12名と研究に没頭した結果、論文数は100編を超え、外部資金も2,000万円超を獲得していました。

今は、「渦による音の発生」の研究を継続し、理論・実験・解析を総合して、「渦のどこからどんな音が出て、その発生機構は何か」の好奇心で研究を進めています。学生と一緒に、先端理論・JAXA様との共同実験・スパコンによる解析を駆使すれば、このなぞがとけるのではないかと、ワクワクしています。

機械分野代表を4年間担当させて頂き、不慣れな分野運営で皆様にご迷惑をお掛けしましたが、その最終年に低迷していた機械の推薦志願者数が過去最高になったのは心の救いです。また、国際交流室長を6年間担当し、その最終年には2年生海外研修旅行が学校行事になったのも、誠に嬉しい限りです。室員の皆様のご支援に感謝申し上げます。クラブ活動の顧問として、バスケット部の高体連加入の支援、またロボコン部では全国大会出場の常連校に向け、微力ながら貢献できたことも嬉しく思っています。

現在の研究が面白く、もう2年間再雇用で皆様にお世話になる予定です。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、呉高専の同窓会ならびに本校教職員の皆様には様々なところで大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍ならびに呉高専の益々の発展を祈念いたします。

高専で学び、 社会に出ていく 皆さんへ



自然科学系分野 教授
森 貞雄

髪がまだ黒いですが
今では70%は白くなっています。



本来ならばここは呉高専と関係のあることを書くべき場所ですが、少しだけ自身の経歴を振り返らせてください。私は大学（電子系の学科）を卒業した後、機械の会社に20年あまり勤め、半導体製造装置、磁気ディスク装置、水質計、マイクロマシニング、レーザ穴明け機の研究・開発、発電設備のメンテナンスなどを経験しました。その後、呉高専に入り14年間、物理（と数学も少し）の科目を受け持っています。呉高専に来た当初は当時導入が進められていた「技術者倫理」も担当していました。

このように今までやってきたことを言葉にして並べてみると、自分が学校で学んだ「専門」（＝電子工学）ことと社会に出て仕事としてやってきたこととの直接的な関連性の「なさ」を

実感します。個人的な感触ですが学校で学んだ知識を、(入社直後は別として)、長期間にわたり活かせる職場はごく限られます。学校で学んだことより、学校を出てから学ぶことがずっと多く、そのほとんどは、その時々で業務を遂行するの必要にかられて自分で身につけるものです。学校で学んだ知識はほとんど役立ちませんが、新しい知識を身につけるための、基礎となる知識や学びの技術は、学校での学習経験を通して身についたと断言できます。40年前は学校を出て大企業に就職すれば一生安心と多くの人が思っていたのですが、実態はそうでもありません。(私が企業にいたときに属した工場や関連会社の多くは、他の会社に工場ごと売却されています。)今は更に先行きを予測することは困難な時代になっています。ぜひ、学校にいる間に、卒業後生きていくのに必要な知識・技能を自分で身につける能力を養ってほしいと思います。そのために大いに呉高専を活用してほしい。高専が学生を教育するものではありません。学びの主体は学生です。

呉高専の教員として採用されてから、忙しいのは別として、今が一番楽しく授業ができています。学生のみなさんありがとうございました。最後になりましたが、未熟な私がかんとか15年間やってこられたのは卒業生・保護者の皆さま、同僚の教職員の皆さまの温かいお力添えのおかげです。この場を借りて御礼申し上げます。

定年退職に あたって



電気情報工学分野 教授
山脇正雄



32年間務めた会社を定年退職、第二の人生を呉高専で6年間過ごさせていただきました。これまでの経験を生かした授業をと意気込んでいましたが、想いが先行してしまい、最初の2年間は教えるべき内容を含め、ずっと試行錯誤をしていたように思います。3年目からなんとか自分でも満足できる授業ができるようになり、技術者としての生き方を何となく伝えられるようになりました。しかし、実学として

学校で教えるべきこと、社会で学ぶことの仕分けは最後まで苦労しましたので、あつという間の6年間でした。

一方で高専に着任したころ、革新的なものづくりの道具として3Dプリンターがブームになっていました。初めて触れる製造技術で、新しい製品を素早く形にできることに大きな魅力を感じて専門性を度外視して飛びついてしまいました。最先端の大型3Dプリンターなど多くの装置を導入し、学生たちにも自由に利用できる環境の整備をしました。協働研究センターで地域連携活動として3Dプリンターを用い技術センターの協力も得て新製品の試作などを進めました。川尻のやすり会社からの依頼で猫用のブラッシングに使う「ねこじゃすり」の開発サポートができヒット商品になったことが印象に残っています。研究の内容も3Dプリンターを使ってCFRPを形成するテーマを選び、装置・材料研究にと悪戦苦闘しました。この歳になって新しい分野で論文が出せたことも喜びとなっています。

学生の同窓会特別表彰

平成30年8月に以下の成績を収めた1クラブと7名を、
10月24日の校内球技大会の際に表彰しました。



○第53回全国高等専門学校体育大会

- ・ソフトテニス男子団体戦 3位/賞状+副賞(1万円)
- ・ソフトテニス男子個人戦ダブルス 優勝/賞状+副賞(3万円)
小川連太郎君(環境4年)、古谷和己君(電気4年)
- ・ソフトテニス女子個人戦ダブルス 3位/賞状+副賞(1万円)
山本桃加君(環境5年)、森木みずうみ君(建築5年)

- ・テニス 男子個人戦ダブルス 3位/賞状+副賞(1万円)
小村創史君(環境5年)、小村亮世君(環境1年)
- ・水泳 バタフライ100m、200m 各2位/賞状+副賞(2万円)
小田悠人(環境2年)

今後も学生の更なる活躍を期待しています。

卒業生の近況

電気工学科 卒業生の近況



着任のご挨拶と 近況報告

電気工学科33期

江口正徳

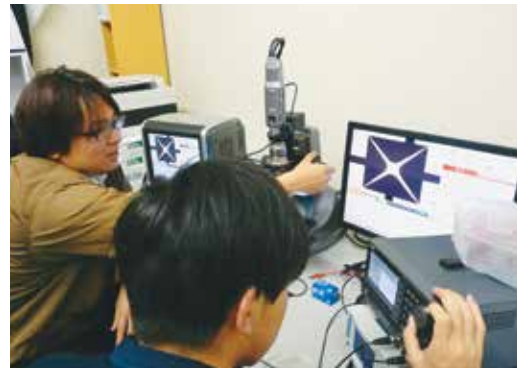


平成8年に電気工学科33期生として入学し、22年経った平成30年4月1日付で電気情報工学分野の助教として、母校に着任致しました。すでに、10月より当研究室に学生が4名配属され、学生と共に授業・部活動をはじめ研究にも励んでおります。学生教育は初めての経験ではございますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、私は呉高専卒業後、九州工業大学に編入し、同大学大学院で学位を取得致しました。その後、大学院時代の恩師が所長を務める一般財団法人ファジィシステム研究所に入所し、7年間、研究者として微細加工・

電磁波を用いたなど医工連携に関する研究を推進して参りました。

また本校においても、近隣の医療機関や企業・研究機関等と密に連携し、医工連携研究を進めるとともに、研究を通じた人材育成や地域活性化に取り組み、本校の発展に貢献したいと考えております。同窓会の皆様にも引き続き、ご支援・ご指導下さいますようお願い申し上げます。



学生との実験の様子

環境都市工学科 卒業生の近況



総務課事務室から

環境都市工学科9期

木村奈央

呉高専を卒業後、大学に編入・卒業したのち、事務職員として母校に帰って参りました。現在は、総務課企画広報係員として管理棟2階の総務事務室内で勤務しております。

さて、在学中にこの事務室に来たことがある方はいらっしゃるでしょうか。

花形(?)の学生課とは違い、総務課は学生と触れ合う機会も少なく、本当にここは学校なのだろうかと思うことも多々あります。校内で学生を見かけるだけで嬉しくなります。

これまで様々な係を経験しましたが、その度に、在学中にはわからなかった先生方の呉高専発展のためのご尽力ぶりを目の当たりにし、ただただ尊敬するばかりです。

授業、実験実習、定期試験、クラブ引率、学校行事、研究指導、ご自身の研究、学校運営…寝る間も惜しんで働いておられます。

先生方に倣って、「呉高専のために貢献したい」と事務職員を志した初心を忘れず、日々奮励してまいります。



手前が総務事務室。
実は校長室(奥)の隣に位置しています。



室内はこんな感じです。

学生の課外活動状況

体育系

第54回中国地区高等専門学校体育大会成績(団体)
7月6日(金)~7月10日(火) 会場:宇部・徳山・大島

種目	順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
陸上競技 男子		米子	徳山	広島	呉	松江	宇部	大島	
陸上競技 女子		米子	徳山	広島	呉	大島	松江		
バレーボール 男子		徳山	松江	呉	宇部	大島			
バレーボール 女子		松江	米子	宇部	大島	広島	呉		
柔道		大島	松江	宇部	広島				
硬式野球		宇部	徳山	(広島)	米子	大島	呉	松江	
テニス		呉	米子	(広島)	宇部	松江			
バスケットボール男子		松江	呉	米子	大島	広島	徳山		
バスケットボール女子		松江	宇部	呉	米子				
剣道 男子		広島	松江	呉	徳山	米子	宇部	大島	
剣道 女子		米子	呉	大島	松江				
サッカー	A	徳山	松江	呉					
	B	宇部	米子	広島					
バドミントン 男子		米子	大島	徳山	松江	呉	広島		
バドミントン 女子		徳山	米子	宇部	松江				
ソフトテニス		呉	松江	徳山	大島	米子	宇部	広島	
卓球 男子		広島	米子	宇部	大島	徳山	呉		
卓球 女子		徳山	広島	米子	宇部	呉	松江		
水泳		松江	徳山	大島	米子	宇部	呉	広島	
ハンドボール		徳山	—	米子	呉				
		松江	宇部						

注)太枠線は団体戦全国大会出場校
団体種目のない陸上競技、水泳競技については総合順位とする。

第100回全国高等学校野球選手権広島大会

7月17日(火)呉二河野球場(1回戦)
呉高専 3-4 尾道東高校(1回戦敗退)

第53回全国高等専門学校体育大会成績(団体)

8月18日(土)~9月2日(日)担当校:北九州高専
ソフトテニス【男子】団体 3位
テニス【男子】団体 予選敗退

第27回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会

8月27日(月)~8月28日(火)
会場:佐伯国際アーチェリーランド(廿日市市)
【男子】団体 優勝

第54回中国地区高専体育大会冬季大会(ラグビー競技)

11月9日(金)~11日(日)
主管:大島商船高専(徳山大学総合グラウンド)
B/パート 1回戦敗退

文化系

高専ロボコン2018 中国地区大会

10月20日(土)~21日(日) 主管:松江高専

Aチーム[Vic鳥(ビクトリ)]
決勝トーナメント1回戦敗退(全国大会出場権獲得)
Bチーム[Rebloom(リブルーム)]予選リーグ3位

全国高専 第29回プログラミングコンテスト

10月27日(土)~28日(日) 主管:阿南高専
【競技部門】予選リーグ敗退

第15回全国高専デザインコンペティション2018 in 北海道

11月10日(土)~11日(日) 主管:釧路高専
【構造デザイン部門】「思伝一線」:優秀賞
「不屈」:賞に該当なし

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018

11月25日(日) 会場:国技館(東京・墨田区)
「Vic鳥(ビクトリ)」:
特別賞(田中貴金属グループ)

平成30年度卒業生の就職・進学先

	卒業生数	就職先	進学先
本科	35	旭化成(株), 出光興産(株), (株) NTT ファシリティーズ中国, 花王(株), サントリー スピリッツ(株), サントリービール(株), サントリープロダクツ(株) (2), 中国電力(株), (株) ディスコ, テルモ(株), 日東電工(株), (株) 日本製鋼所, マツダ(株) (2), ミツトヨ(株), 村田機械(株)	茨城大学工学部, 豊橋技科大学機械工学課程 (2), 九州大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科 (14)
	37	旭化成(株), (株) エヌ・ティ・ティ エムイー, (株) エヌ・ティ・ティ ネオメイト, (株) OGCTS, 関西電力(株), キヤノン(株), JRC特機(株), セイコーエプソン(株), ソニー エンジニアリング(株), ソニーエンジニアリング(株), 中国電力(株), (株) 中電工, 中部電力(株), テンパール工業(株), 東芝ITサービス(株), 東レ(株), 日鋼設計(株), (株) ニコン, 日本貨物鉄道(株), パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株), パナソニック(株) オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社, 日立建機(株), (株) フィックスターズ, (株) 富士通コンピュータテクノロジーズ, 富士電機(株), (株) フリーダム, 三菱電機エンジニアリング(株), 三菱電機ビルテクノ サービス(株), 三菱電機システムサービス(株), (株) メンバース	筑波大学情報学群, 岡山大学工学部, 徳島大学理工学部, 呉工業高等専門学校専攻科 (4)
	41	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株), 大阪ガス(株), 関西電力(株), 国土交通省 中国地方整備局 (3), 国立印刷局, 大成建設(株), 中国高圧コンクリート工業(株), 中国電力(株) (2), 電源開発(株), 東海旅客鉄道(株) (2), 東京ガス(株), 西日本 高速道路(株), 西日本高速道路エンジニアリング中国(株), 西日本高速道路メンテナンス中国(株), 西日本旅客鉄道(株), 広島県庁, 広島市役所 (3), 富士通(株), レールテック(株) (2), (株) LIFE MARKET	東京工業大学生命理工学院, 長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程, 九州大学工学部, 熊本大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科 (11)
	43	(株) あい設計, (株) アクセラホーム, 大阪ガス(株) (2), 鹿島クレス(株), 関西電力(株), 五洋建設(株), 三機工業(株) (2), JFE シビル(株) (2), 清水建設(株), 大和ハウス(株) (2), (株) 竹中工務店, 中電技術コンサルタント(株), (株) ディスコ, トランス コスモス(株), 中村外二工務店, 西日本高速道路(株), 西日本高速道路ファシリティーズ(株), 西日本旅客鉄道(株), 西松建設(株), 広島市役所, (株) フジタ (2), 三井住友建設(株)	北海道大学工学部, 東京大学工学部, 横浜国立大学工学部, 京都工芸繊維大学工芸科学部 (2), 三重大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科 (7)
専攻科	18	(株) 意匠計画, (株) ガイアックス, 呉市役所, 五洋建設(株), ショーボンド建設(株), (株) 神鋼環境ソリューション, (株) 東栄住宅, パナソニック(株) アプライアンス社, (株) 日立製作所原子カビジネスユニット, 広島県庁, (株) プランテック総合計画事務所, マツダ(株) (2)	東北大学大学院環境科学研究科, 東北大学大学院医工学研究科, 豊橋技術科学大学大学院工学研究科, 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

呉高専教員 人事異動

退職 (平成30年3月31日)

宇根 俊範 (一般; 人文社会系) 定年退職
 山田 宏 (機械) 定年退職
 森脇 武夫 (環境都市) 定年退職 (広島工業大学教授)
 泉 洋輔 (建築) 定年退職
 西宮 善幸 (嘱託教授) 再雇用期間満了退職
 佐藤 榮祐 (特命教授; 専攻科) 雇用期間満了退職
 大田 一夫 (特命教授; 専攻科) 雇用期間満了退職
 中西 敏明 (特命教授; 専攻科) 雇用期間満了退職
 藤本 義彦 (特命准教授; 専攻科) 雇用期間満了退職

異動(人事交流) (平成30年4月1日)

平山 規義 (一般; 人文社会系) 和歌山高専へ

採用 (平成30年4月1日)

柿元麻理恵 (一般; 人文社会系)
 江口 正徳 (電気情報)

再雇用 (平成30年4月1日)

宇根 俊範 (嘱託教授)
 山田 宏 (嘱託教授)

寄付金の募集について

同窓会では、より活発な活動を行うため同窓生の皆様から広く寄付金を募っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

口座番号 01310-1-2212
 加入者 呉工業高等専門学校同窓会

ご注意

本同窓会が個人情報管理を委託しているのは「株式会社サラト」のみです。「株式会社サラト」以外から同窓会名簿購入等のダイレクトメールが届くことがあるかと思いますが、これは本同窓会とは全く関係ありませんのでご注意ください。

★同窓会ホームページ、メールアドレスのお知らせ

同窓会のホームページが呉高専ホームページ内にあります。ぜひご覧ください。
URL: <http://www.kure-nct.ac.jp/research/dosokai.html>
 また、同窓会用メールアドレスは以下の通りです。住所変更の連絡などにご利用下さい。
アドレス: OBOG@kure-nct.ac.jp

*個人情報の取り扱いについて

本同窓会(個人情報管理委託先: 株式会社サラト)で所有する会員の個人情報は、会員間の親睦以外に使用することはありません。